

■スクーリングで学んでほしいこと【必須】

- ・スクーリングにおいてとくに学んでほしいこと、講義内容の概要などを50字～200字程度で文章化（または箇条書き）していただければ幸いです。

■到達目標【必須】

- ・「到達目標」として学生にスクーリングで修得してほしいことを、3～6項目程度の箇条書きで記載をいただけないでしょうか。
- ・必ず箇条書きをお願いいたします。
- ・「理解する」のような一般動詞ではなく、「～を説明できる」「～について解説できる」等、学習者の行動目標を記述する動詞を使って、「到達目標」を記載してください（参考：東北福祉大学 シラバス作成の要領 http://www.tfu.ac.jp/fd/material/pdf/syllabus_point_2015.pdf）。
- ・「到達目標」はできれば下記「スクーリング評価の基準」と関連させてください。

(例)

- 1) 地域福祉の歴史と理念について説明できる。
- 2) 地域福祉実践の人的社会的資源と、その活用法が事例をあげて説明できる。

■スクーリング講義内容【必須】

- (1) 下記記載例のようにコマごとの講義内容をテーマと内容を分けて記載してください。
- (2) コマ数に応じて、最終コマ（8コマの場合は8コマめ）に試験を行っていただきますが、最終コマの前半は8)として質疑応答または講義の時間と記載してください。
- 9)としてスクーリング試験を記載してください。

【8コマの講義の場合の記載例】

(例)	テーマ	内容
1)	社会保障制度の概要①	子ども手当・年金保険制度
2)	社会保障制度の概要②	医療保険制度・介護保険制度
...		
8)	質疑応答（または最終コマに20分～40分の講義をされる場合はその内容）	
9)	スクーリング試験	

※12コマの場合は12)が質疑応答（または最終コマに20～40分の講義をされる場合はその内容）、13)がスクーリング試験、6コマの場合は7)を試験としてください。

■講義の進め方【必須】

- ・スクーリング講義の進め方について記載をお願いいたします。
- (例) 配付資料をもとに板書もしながら進めます。途中グループワークを行います。
- (例) 配付資料をもとに具体的な話題も含めながら講義を進めます。教科書も適宜使用します。
- (例) 配布資料をもとにパワーポイントを使用し、途中ビデオなども見ながら講義を進めます。

■スクーリング評価の基準【必須】

(例) 授業への参加状況 30% + スクーリング試験 70% (持込可 or 自筆のノートのみ可 or すべて不可)。試験では、とくに〇〇についての理解を問います。

(例) スクーリング試験 100% (持込可 or 自筆のノートのみ可 or すべて不可) 試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

※学習者が授業の到達目標をどの程度達成したかを客観的に厳格に評価するもので、配分割合を必ず明記してください。

※「出席」を評価対象とすることはできませんので、「授業への参加状況」などとしていただくようお願いいたします。

■スクーリング時の教科書【必須】

(例) 教科書『書名』は必ず持参してください。

(例) 教科書『書名』を参考程度に使用します。

(例) スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

※教科書を使用する場合は、『レポート課題集』記載の教科書でお願いいたします。

■スクーリング事前学習【必須】

・ 予習すべき内容をご指示ください。

(例) 教科書の〇章・〇章は読んできてください。

(例) 講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

・ 事前学習時間の目安もご記入ください。

(学習時間の目安：5～10時間) などと記載してください。

1 単位あたり 45 時間の学習時間を確保することを義務づけられています。事務室で校正原稿に記入させていただきましたが、先生方で適宜修正をしてください。

■スクーリング事後学習

※レポートがある科目では、通信教育部の事後学習は、レポートをまとめることでもあるため、記載がなくても大丈夫です。

■参考図書

※必要に応じて参考図書をご指示ください。